

## 第 14 回 高大連携協議会（機械系）議事録

日時：平成 30 年 12 月 4 日（火）15:30～17:00

会場：宮崎大学工学部 C 棟 C421 会議室

出席者（敬称略・順不同）：

<工業高校>

古川 敦弘（延岡工業），上田 雅史（日向工業），中城 清治（日南振徳），  
陰山 淳一（都城工業），永井 誠穂（宮崎工業），高妻 智仁（小林秀峰），  
國府 正（佐土原）

<宮崎大学>

申 炳録，長瀬 慶紀，河村 隆介，各務 聡，盆子原 康博，木之下 広幸，  
山子 剛，友松 重樹

進行：古川 敦弘（延岡工業）

記録：河村 隆介（宮崎大学）

### 協 議 内 容

担当

議事に先立ち，出会者の自己紹介を行った。

#### （1）高校側状況報告

##### 1) 高校 3 年生の進路状況について

平成 30 年度の高校 3 年生の進路状況は就職 79%，進学 21%である。（未  
定者含む）企業からの求人が多く，高校 3 年生の大学進学希望者は少ない。  
高校 1，2 年生の進学希望者は例年よりも多いと報告した高校があった。

##### 2) 大学でのインターンシップについて

実施時期は夏期休業などの長期休業中が参加しやすく，今年度と同時期が  
良いと報告した高校が多い。高校 3 年生の進路に関する担任による三者面談  
が始まる 6 月下旬より前に実施要項を配布すれば，進学希望者に案内できる  
という意見があった。インターンシップ参加者へ AO 入試について参考とな  
る情報提供があったかという質問があり，オリエンテーションで学科の教育，  
研究，進路状況について説明を行ったという回答があった。

##### 3) 高校での英語教育カリキュラムについて

必修科目として，コミュニケーション英語や英会話，進学希望者への選択  
科目として，英語表現や英語リーディングを行っていることが報告された。

英語外部試験への生徒の受験への取り組みについては，英検やリスニング  
英語検定を生徒に受験させている高校が多い。TOEIC 試験への受験について  
は，TOEIC Bridge を実施している高校があったが，実施されていない。

#### （2）大学側状況報告

学科担当教員の昇任，新入教員の着任，平成 29 年度の進路状況，工業高校  
生の大学でのインターンシップ，大学生の高校でのスクールトライアル，大  
学での英語教育カリキュラムや TOEIC 試験への受験への取り組みについて  
報告があった。

全員

古川,各  
高校教諭

河村,長瀬,  
各務

<p>(3) 今後の高大連携について</p> <p>①工業高校生の大学でのインターンシップについて 協議の結果、次年度については高校1,2年生の進学希望者を主な対象としてお盆明けに実施することにした。</p> <p>②大学生の高校でのスクールトライアルについて 受入れた高校の担当教諭から、高校の教職員の仕事を学生に知ってもらう工夫を行ったという報告があった。参加する学生が大学の魅力を高校生に伝える取り組みを行えば、高校と大学との交流がより深まるのではないかという意見があった。次年度も学科1,2年次の学生に対してスクールトライアルについて案内することにした。</p>	古川,河村
<p>(4) その他</p> <p>友松教員から、工業高校から本学へ入学した大学院修士学生の一人が海外で開催された国際学会で Best Paper Award を受賞したという報告があった。</p> <p>大学でのインターンシップへの参加に対する AO 入試での評価や AO 入試の活動報告書について質疑応答を行った。今年度の AO 入試の実績について情報開示の要望があり、教務係へ問合せの上、後日回答することにした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	古川,河村, 各務

<敬称略>



第14回 高大連携協議会（機械系）（平成30年12月4日、宮崎大学）の様子

協議会の趣旨（2006.10.26 第1回高大連携協議会（機械系）にて趣旨説明あり）

- 高校と大学の専門分野（機械系）のカリキュラムについて、相互理解を深める。
- 教育プログラム全体にわたり連携して、教育目標の実現に資する。
- これらを通して、中等・高等教育に対する地域社会の期待に応える。